

# 九州学

公開授業  
入場無料

これは“全身で得る”学問。

昨年は九州の辺境性と先進性を問題にテーマを設定し「辺境から発信」を全体テーマとしました。今年のテーマは「九州を発光させる」です。九州の特性を踏まえ、そこに光を当て観光、文化、産業の魅力を引き出す企画を考え、外部や大学内部から九州の特性、魅力を語る方をお呼びしました。

一方、別府大学が取り組んだ九州を発光させる事業、企画も紹介します。大学は、3年前の熊本・大分地震等の災害を契機に、私立大学ブランディング事業を獲得し、新しい文化財保護の九州の拠点化を目指しています。発酵食品学科は、別府から「発酵」をテーマに九州を発光（発酵）させる取り組みを進めています。

史学・文化財学科は、フランス・モンペリエ第三大学（ポールヴァレリー大学）との交流協定を結んで今年で20年目となりました。この4年間は「宇佐とローマをつなぐ」をテーマに両大学の共同研究が進められ、双方の国で合わせて、6回の研究集会を開催し、4冊の報告書（別府大学3冊、ポールヴァレリー大学1冊）を発刊しました。九州学では、12月のシンポジウム企画として、フランスから2人の研究者を招き、国際シンポジウム「世界遺産への道 宇佐とローマをつなぐ」を開催します。

九州学2019予定表（会場：別府大学400番教室）

1	9月21日(土) 9:00～10:30	<b>「九州を発光させる」の企画について</b> 飯沼 賢司(別府大学学長)・金谷 俊樹(別府大学非常勤講師)
2	9月28日(土) 9:00～10:30	<b>昭和の町から千年ロマンへ</b> 金谷 俊樹(別府大学非常勤講師)
3	10月5日(土) 9:00～10:30	<b>九州の災害と文化財の保存 研究ブランディング事業の取り組み</b> 渡辺 智恵美(別府大学教授)
4	10月12日(土) 9:00～10:30	<b>災害王国九州－別府も例外ではない－</b> 大西 徹(福岡管区気象台 気象防災部 地域火山監視・警報センター 技術専門官)
5	10月19日(土) 9:00～10:30	<b>九州・別府を発光(発酵)させる「温泉水 あまざけ」の開発</b> 塩屋 幸樹(別府大学講師)
6	10月26日(土) 9:00～10:30	<b>地域からみた三浦梅園－鳥居銘を通して－</b> 岩見 輝彦(三浦梅園資料館専門員・文学博士)
7	11月9日(土) 9:00～10:30	<b>日本遺産と文化財、観光</b> 三重野 誠(大分県文化課参事)
8	11月13日(水) 9:00～10:30 ※土曜日授業	<b>温泉観光王国別府・九州</b> 中山 昭則(別府大学教授)
9	11月30日(土) 13:00～14:30	<b>社会に発酵の価値を埋め込むイノベーション</b> 小倉 ヒラク(発酵デザイナー)
10	12月7日(土) 9:00～10:30	<b>神話の国九州－天孫降臨を読み解く－</b> 飯沼 賢司(別府大学学長)
11	12月14日(土) 9:00～10:30	<b>障がい者雇用発祥の町「別府」－中村博士と太陽の家－</b> 山下 達夫(太陽の家理事長)・福元 邦雄(三菱商事太陽社長)
12	12月21日(土) 13:00～16:10 場所：別府大学メディアホール	<b>国際シンポジウム</b> <b>「世界遺産への道 宇佐とローマをつなぐ」</b> －別府大学とポールヴァレリー大学との共同研究から見てきたもの－ コーディネーター 飯坂 晃治(別府大学准教授) パネリスト 飯沼 賢司(別府大学学長) マルティヌ・アセナ(ポールヴァレリー大学准教授) アントワヌ・ペレス(ポールヴァレリー大学准教授) 山本晴樹(別府大学名誉教授)
13	1月11日(土) 9:00～10:30	<b>ドイツ人がみた九州の考古学の魅力</b> 篠藤 マリア(ハイデルベルグ大学大学院准教授・別府大学客員教授)
14	1月17日(金) 9:00～10:30 ※土曜日授業	<b>大宰府と万葉</b> 浅野 則子(別府大学教授)